

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月9日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0350	2,0310	2,0330	2,0410	2,0480	+0,0070
	USD/YEN	Spot	80,25	80,40	79,98	79,40	79,49	+0,0900
	EUR/USD	Spot	1,2788	1,2810	1,2769	1,2747	1,2714	-0,0033
	BRL/YEN	Spot	39,51	39,59	39,38	38,90	38,85	-0,0500
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,52	1,47	1,53	1,61	1,59	-0,0241
		1Year(p.a.)	1,71	1,70	1,69	1,76	1,72	-0,0431
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,10	7,09	7,11	7,11	7,11	u.c,
		1Year(p.a.)	7,22	7,23	7,23	7,24	7,26	+0,0231
Stock	Bovespa		58.210	59.459	58.517	57.524	57.358	-166,74
Bond	CDS Brazil 5y		108,39	106,00	101,13	100,25	103,51	+3,2570
	Global 40		126,875	126,875	126,875	126,875	127,000	+0,1250

\* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

USD/BRL直近5営業日



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FGVインフレ率-IGP-M (プレビュー、11月)	-0.05%	-0.19%	0.15%	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.0320 で寄り付いた。
- 週初には米大統領選を控えて様子見の投資家が多く見られた。レアルは流動性が低く、2.03 台前半で小幅に推移した。
- 週央に、米大統領選挙の投票結果が発表され、オバマ大統領の再選が決まるとリスク資産の買いが見られた。レアルも買いが優勢となり、週間高値となる U\$1=R\$2.0300 を付けたが、米財政懸念が再燃したことを受けたリスク資産の売りが優勢となると、レアルも売り戻された。
- 週末にかけては ECB ドラギ総裁が「域内債務危機の影響が独経済に及び始めている」とコメントしたこと等の悪材料が嫌気され、リスク資産の売りが引き続き優勢となった。レアルもつられて 3 週間振りに 2.04 台を下抜けて下落した。
- 9 日もリスク資産の売りが続く中、レアルも売りが優勢となった。更にポジション整理と見られる大口売りを受けた結果、レアルは一気に続落し、6 月末以来に 2.06 台を下抜けた。レアルは週間安値となる U\$1=R\$2.0660 を付けた後、輸出企業とされる買いで 2.04 台後半まで戻し、結局 U\$1=R\$2.0480 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
11/12	FIPE消費者物価指数(週次)	nov/07	0.75%	0.84%
11/12	貿易収支(FOB)-週次	nov/11	--	--
11/13	小売売上高指数(前月比)	Sep	0.2%	0.2%
11/13	小売売上高指数(前年比)	Sep	8.7%	10.1%
11/13	広義小売売上高(前年比)	Sep	5.9%	15.7%
11/14	FGVインフレ率-IGP-10(前月比)	Nov	-0.20%	0.42%

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.02-2.08

今週は米国大統領選挙を控えてレアルの流動性は通常時より低下し、週央までは値動きも限定的となった。しかし週末にかけてリスク資産売りの動き等から 4 ヶ月振りにレアルが大幅に下落し、6 月末以来に 2.06 台を下回った。伯中銀によるドル買い介入警戒感からレアルは 2.02 台を上回る可能性が低い一方、今週見られたようにレアル安に対する警戒感は低く、ここ数ヶ月に亘って限定的となっていたレアルの取引レンジは来週以降から拡大し、ボラティリティーも徐々に回復することが予想される。尚、ブラジルでは来週 15 日が祝日であることから週末にかけて流動性が低下することが予想される。